



令和5年9月1日  
東京都立石神井特別支援学校

## 学校だより

特性を活かす

校長 柳澤 由香

この夏は、平年よりも気温が高く厳しい暑さが続きましたが、1か月余りにわたる夏季休業期間、子ども達は、社会の中で、それぞれが多様な経験をし、いろいろと考え、学び、成長したことと思います。そして、今年も、第105回全国高等学校野球選手権大会等、多くの人々の心を動かす熱い出来事がたくさんあり、多岐にわたって力強いエネルギーをいただく場面に触れました。

私が、この夏に参加した全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会（北海道大会）では、第5回WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）日本代表監督、北海道日本ハムファイターズ前監督である栗山英樹氏による講演がありました。演題は、「チーム（組織）をまとめる力 マネジメント力とは ～監督の経験から～」。侍ジャパンの選手は、皆さん、日本を代表する素晴らしい選手です。全員が、目標としている「勝つ」という目標達成のためには、選手全員が力を合わせ一丸となり、侍ジャパンとして力を発揮することが大切です。そのためには、それぞれの特性を活かすということが、重要なポイントとなります。一人一人の特性を把握し理解するために、言葉をかけ、コミュニケーションを図りながら、信頼関係を築くことで、選手のチームへの熱意や力につながり、同じ目標をもつ者たちが各自の役割を果たし、チーム力へと結集されていくのです。

この考え方は、学校においても大切な考え方です。私達が目標としていることは、子供たちの自立と社会参加、誰一人取り残すことのない持続可能で多様性と包摂性のある社会、共生社会の実現です。多様な専門性を有する教職員集団においても、個々の特性を活かすことで、それぞれのモチベーションが上がり、力を最大限に発揮し、各々の良さ、専門性が引き出し伸長され、それが大きなチーム力となります。子ども達も、学年集団や学級集団において、特性を活かされ、認められることで、自信をもち、また、集団の一員としての役割を担い貢献することで、主体性や責任感、達成感等が培われます。これからも、個々の特性を活かして、心豊かに、これからの時代を生き抜く子ども達の育成に努めてまいります。保護者・地域・関係機関等の皆様の御理解・御協力をお願いいたします。